

(案)

**Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会**  
**白書分科会(第 20 回)／**  
**周波数作業班(第 4 回)／ビジョン作業班(第 30 回)／技術作業班(第 21 回)**  
**議事要旨**

1. 日時: 2022 年 12 月 27 日(火)15:00～16:40

2. 場所: ウェブ会議(Webex)

3. 出席者:

中村主査(NTT ドコモ)

周波数作業班: 本多リーダー(エリクソン)

ビジョン作業班: 小西リーダー(KDDI)、永田サブリーダー(NTT ドコモ)

技術作業班: 中村リーダー(富士通)、下西サブリーダー(NEC)

WP5D 対応 Ad hoc: 菅田主査(KDDI)、武次副主査(NEC)

ほか、通信事業者、メーカー等、計 69 名

(事務局)

総務省移動通信課 新世代移動通信システム推進室 増子室長、東係長、杉山官

ARIB 加藤、佐藤(拓)、相原、三宅、佐藤(聖)、山下

4. 議事要旨

(1) 前回(#19)会合議事要旨

前回白書分科会(#19)議事要旨案につき 12/26 展開、1/16 までのコメントを依頼。

(1/16 までに特にコメントなく確定。)

ビジョン作業班(#29)議事要旨案につき特にコメントなく確定。

(2) WP5D 対応 Adhoc

武次副主査より、資料 02-1「ITU-R WP5D 第 42 回会合結果と第 43 回会合に向けた対応案(above100 関連)」に沿って、次回 WP 5D 会合への準備状況の説明がなされた。特に質疑は無かった。

菅田主査より、資料 02-2「for WP5D#43 Vision 関係概要」に沿って説明がなされた。

中村主査より、End-To-End 要求条件から無線区間にブレイクダウンするのに、どのように進めるか検討が必要であるとコメントがなされ、技術作業版にて白書の要求条件と WP 5D へ提案すべき数値との整合性を検討するよう依頼がなされた。

中村リーダーより、技術作業版にて検討すると回答がなされた。

(案)

### (3)ビジョン作業班

小西リーダーより、白書 2.0 版の作成に向けて、作業を進めているメンバー、および4章の整理に当たっている住友電工 宮田氏に対し、謝意の言葉があった。また、資料 03「白書 2.0 版の作成に向けて」に沿って説明がなされ、P.1「2.0 版の作成に向けた主なマイルストーン」について、2/28 までのスケジュール、および Word/PPT の英語の翻訳には出さない旨確認された。

次に、住友電工 宮田氏から、P.1「御礼並びにお願い事項」に関して、説明があり、各社から資料を早めに提出いただいたことに関し、謝意が示された。英語版のテンプレートに関し、修正したい点を別途メールで説明するので、対応をお願いしたい旨、説明された。「日本語版各業界の完了状況」(作業ステータス.ppt)の完了日を各社で埋めて欲しい。2社(ローム社、CTC 社)について未提出なので、フォローが必要。各社 1/6 が×切となる。「英語版各業界の完了状況」(作業ステータス(EN).ppt)についても、同様に各社で記入するようお願いする。

事務局 加藤氏:「06\_今後のスケジュール(会合議論反映版).pdf」P.2「白書 2.0 版作業スケジュール」において、各社 1/6 が×切となり、遅れている2社も含めた×切が 1/13 になると理解した。

### (4)技術作業班

中村リーダーより、資料 04「技術作業班会合資料」に沿って説明がなされ、議論が進められた。主な質疑は以下の通り。

下西サブリーダー:リーダーチャートに関しては技術作業班でも検討する。WP5D にどう反映するかなど、菅田さんのご意見も伺って整理したい。

中村リーダー:具体的な進め方としては、メーリングリストを使って、菅田さんにも加わっていただいて、1 月第 2 週くらいまでに整理したい。

NEC 里田氏:ネットワークアーキテクチャは自律運用のドラフトが完成した。レジリエンスに関しては NICT 様に検討いただいている。

NICT 東氏:NICT が担当するレジリエンスはどこの章になるか。

中村リーダー:「6.3 信頼性」になると思う。

KDDI 高木氏:東さんの担当は「6.6 ネットワークアーキテクチャ」で書くことにしたと思う。6.3 は NICT の中尾先生にお願いしている認識。

中村リーダー:失礼しました。認識違いでした。

NEC 里田氏:タイトルは「レジリエンス」で 6.6.4 かその前に入れるか検討する。ボリュームは 2 ページくらいの想定。

(案)

中村リーダー:技術作業班の一次原稿としては、日本語版は 1/16 まで、英語版は遅くとも 1/23 の週までに作成して、最後の微調整を 2 月央に行う想定。

事務局 加藤氏:全体スケジュールに反映する。

#### (5)周波数作業班

本多リーダーより、資料 05\_1~3 に沿って説明が行われた。主な質疑は以下のとおり。

本多リーダー:本日のワード文書に沿ってこのままメール上で議論を行い、更新後、1 月の白書分科会で再度確認するような進め方で良いか。

事務局 加藤氏:異論ない。日本語、英語とも、1 月白書分科会で最終照会版が入力される予定として、全体スケジュール資料を更新する。

中村隆治:周波数の記載は、1.0 版ではミリ波の記載を中心としていたので、整合性の観点で、今後見直しが必要となる可能性がある。

本多リーダー:了解した。今後相談させて頂きたい。

華為 朱氏:APG の記載は積極的に記載した方が良いのではないかと。米国でも動きがある。

本多リーダー:APG の議論をみると、どこまで記載できるかは未知数。また全ての情報がオープンではない。

KDDI 菅田氏:APG に向けて総務省で日本の寄書も作成されているので、参考にできる可能性がある。米国については 4 月の CPM 会合までに主だった動きはないと思われる。

本多リーダー:引き続きメール上で情報提供をお願いしたい。

華為 朱氏:記載する情報は、公開情報のみか、非公開情報も含むのか。また最後にまとめがあればよい。

本多リーダー:基本は公開情報と考えている。寄書も全ての人に公開されている訳でない。まとめについては検討するが、具体的に提案頂けると有難い。

中村主査:まとめについては賛成である。全体を踏まえた考察があると非常に参考になる。是非作成の検討をお願いしたい。

本多リーダー:記載できるのは、今後、新たな周波数が必要という事と、高い周波数のみでは不十分でミリ波以下の帯域が必要という点になろうかと思う。

具体的に、新しい周波数を明確に記載できるかという点と難しいと感じる。

菅田主査:高い周波数とはどのあたりの周波数を想定しているのか。いずれにせよ WRC23が完了しないと断定的なことは言えないと思うので、記載内容は慎重に検討されるべき。

本多リーダー:高くして300GHzあたりかと思う。指摘には同意で、記載できるとする

(案)

と移動への一次割当程度かと思う。

中村リーダー: 第 6 章は電波伝搬の記載を含んでおり、ITU-R の SG3 の範疇となるので、その観点も触れられるとよい。

本多リーダー: WP5D の Above 100GHz 関連に続けて記載するのがよいと感じた。引き続き議論させて頂きたい。

以上で、審議を終了し、引き続きメール上で内容の更新に向けて議論を継続することとした。

#### (6) 今後のスケジュール

事務局より資料「06\_今後のスケジュール」に沿って説明がなされた。

主な質疑は以下のとおり。

中村主査: Beyond 5G 推進コンソーシアムの総会の日程について情報あるか。

総務省 杉山氏: 事務局情報では 3/13(月)AM にて調整中であり、別途正式に連絡がある予定である。

次回会合は 1 月 24 日(火)15:00 から開催予定。

以上